



紅 の 夢

A
2
ク
ラ
ス

目次

3	入社式 初めて出会う 森健と	8
4	さあ始まるぞ 入社式 新入社員総代は森健だ	10
5	新入生配属決定 王紅さんは観光企画部 森健はAI開発部だ	12
6	成果はあったか コラボ会議 彼らは会社を救えるか	14
7	コラボ会議のメンバーで慰労会 ガチ中華の店でお食事だ	16
8	業績上向き ボーナスが出た AI万智さんの査定は如何に	18
9	王紅さんの「親友プラン」が大評判 旅行市場に新風 そして次なる夢は	20
終	愛(AI)はAIを超えるか「愛の旅行プラン」そして二人は	22

3 紅の夢

1 入社前 京都に旅行 楽しいな

紅葉の季節、私の目に映ったのは「おいでやす」という京都駅の階段に映された投影だ。この季節になると、京都に来る旅行者の数は右肩上がりになる一方だ。(羅 駿浩)

しかし、今はデジタルの時代。今の人たちは、門を出ず、パソコン使うだけで、その景色を簡単に見られる。どうしても、自分の足で、この古都の町を歩く感動を、人々に伝えたい。そのために、私は観光学を習い「旅人」という会社に入った。やはり、この業界に一石を投じるには、まず自分が業界の大物になるのが先だな！なんちゃって。私は、心の中にある密やかな野望を膨らませながら、京都の建物を眺めている。

(卫冕)

目に映った京都の紅葉は、美しい。「だから秋はずるいものだ」と私は思う。あんにきれいなのに夏の終わり。私は胸が焼き焦がれるほどにその男の子に恋をした。しかし、卒業した後、何度も彼に連絡しても、のれんに腕押しだった。「もういいか。

終わってからの始まり。」と微笑みつつ、京都にいる友達の李秀麗に電話をかける。

(蒋海跃)

「李さん、こっち、こっち」「ごめんね。お待たせ」「ううん、全然。あ、李さんもこの御守りを持ってきた。あうんの呼吸ってこういうことを言うんだね。」「大学時代に一緒に浅草寺で買ったこれ、本当に懐かしなあ」「李さんとまた会えて本当によかった。じゃ、早速清水寺に入ろうよ」「ええ、紅ちゃんの入社祝いのおみやげも買おうかな。恋愛祈願の御守りも」(张钰)



2 京都 清水 金閣寺 女二人の旅続く

李さんが私の腕に捕まってワクワクしながら清水寺に通じる坂を登っていき、私
もついていきました。清水寺に近付きつつ、耳にするのは街の風鈴の音で、なんか
心地よくなりました。段々と、清水がはつきり見えました。赤色と黒が混ざった建
築は、歴史的な優雅さを示していて、貯蔵時間の一番長い美酒も一目置く古くて美し
い雰囲気があります。（钱誠）

こういう雰囲気の中でやはり切ない気持ちになるわ。「何その顔、新しい生活のた
めに旅行に来たんでしょ。楽しくしないと。」「肝に銘じるよ。では気持ちを新たに
して、仕事に使える写真を撮らないと。」「入社式もまだなのに、仕事熱心ね。」（殷
照东）

「いいな、そういえば、同郷の方一さん覚えてる？」「うん、比較的勉強が苦手
だと思われた彼女だが、真面目に努力を重ねて、卒業時には学年トップクラスの成績
まで上がっていた。」「そうだね。彼女は大器晩成のタイプだったようだ。去年、大

手企業に就職し、新入社員の中で最も素早く頭角を現した。羨ましいねー。我々も『骨を惜しまず』よく働こう二」「あはは、お互いに頑張ろうね。」（高飛）

李秀麗さんと一緒に観光しながら話したり笑ったりしてすごく楽しかった。いつのまにか日が暮れた。「もっと京都を旅したいなあ」「でも明日は入社式でしょ」「うん、これから空港へ行かなくちゃ。今度また一緒に旅しよう」後ろ髪を引かれる思いで私は空港に向かった。（肖晗）

3 入社式 初めて出会う 森健と

今日は入社式の初日ですが、私たちの主人公である 王紅は寝坊したので、急いで起きて顔を洗い、バイクに乗って、全力でバイクに拍車をかけるようにして、ついに無事に会社に駆けつけました。(刘信标)

会社へ行く途中で、真剣に働く決心をした王紅は「頑張って仕事をして、同僚と仲良くしていれば、すぐに昇進できて、彼氏ができるかもしれない」と「美しい」未来も同時に想像し始めたが、彼女はすぐに 李秀丽さんが京都で「謙虚にならない」と。いつでもあなたは勇み足の可能性があるよ」と警告してくれたことを思い出し、冷静になった。(魏然)

王紅は時間を見ると、入社式までまだ少し時間があるので、急いで化粧室に行き、もう一度メイクをチェックしようかと道を探していたとき、うっかり前を歩いていた人とぶつかってしまった。「あ、きみも新入社員ですか、インターネットの発達により今観光産業はあまりうまくいっていないですね。『旅人』の未来は、私たちの

双肩にかかっていますね。あ、独り言ばかり言いました。すみませんまだ名乗っていませんでした。森健太郎です。キミは」。 (李悦阳)

森健太郎は少し緊張した顔をしている。「社員になった私でも将来が不安です。社員にひたすら『絵に描いた餅』を与えている社長もいるそうですが、社員に仕事をさせてばかりで報酬を与えない」「でも入社した一緒に頑張りましょう」王小紅は入社式がもうすぐ始まるのを見てそう言ってそそくさと立ち去った。(张林玲)

4 さあ始まるぞ 入社式 新入社員総代は森健だ

何か、人の群れの中でも知っている人はモリケンしかなく、一人ぼっちの子そんな感じがする。心の中に漂う孤独感を払拭しようと思つたとき、間髪を入れず司会者に入社式の始まりを告げられる。まるで祇園精舎の鐘の声 諸行無常の理をあらわすかのよう――。(張臨謙)

社長は講演で、今はコロナ禍が深刻で、会社の資金が回らず、給料がきちんと支払われない可能性があると言った。この状況は貯金のない自分には寝耳に水で、来月にはマンションの家賃が払えない。(張穎)

「これってやばくない？会社が倒産してしまうよ」「希望を持っていた私の耳が痛いと言わないでよ。きっと何か方法があるはずだ」王紅は困惑した表情で頭を下げた。なぜこんなことになるの――この会社で大きな成果を出したいと思っていたのに、初日から寝坊してしまって、いま会社も危機的な状況になっている。私は今まで何をしていたのか？王はとても悲しい気持ちになり、今にも泣き出しそうな表情。こ

のとき突然、肩を誰かに叩かれた。ああ、森健太郎だ。森は太陽のような温かい笑顔で「心配しないで、すべてうまくいくよ」。そして演台に向かって歩き出した。

(韦伊)

森は講演している。「社長が言った通り、我が社は今危機に陥っています。なお、日進月歩のIT技術が伝統的な旅行業にも危険をもたらしています」「でも、本気を出せばどんな厳しい困難があっても必ず克服できます。赤字でも会社に入った皆さんはエリートです。業績を伸ばすことも、新しい技術の導入も本腰を入れましょう」(斉原)

5 新入生配属決定 王紅さんは観光企画部 森健はAI開発部だ

入社式が終わった後、そろそろ新入生配属が決まるので控えていた。「買って出た方がいいの？ けどまだ入社したばかりで！」と王紅が心配しているうちに、観光企画部に欠員が出て、重責を担える人を望んでいる、と知った。王紅は名乗りを上げて、自分の観光学知識によって順調に観光企画部に入ることができた。(邓碧晶)

新人として、王紅は観光企画部で成果を上げるように求められたが、着任したばかりの王紅は誰も知らなかった。この時、王紅は森健のことを考えていた。森健はAI開発部門に所属しており、王紅は森健とコラボして、Webサイトを構築しようと考えた。そこに観光情報を掲載できないかと考えている。そう考えた王紅は森健に相談することにし、AI開発部に向かった。(黄圣文)

一方、AI開発部門では、森健太郎の声がオフィスに響き渡っている。「UIのデザインもそうだけど、プログラムの構造もめちゃくちゃなのにアノテーション一言も付けていないのはどういうこと？」「そんなのどうでもいいじゃないか？ 機能さえ実

現できればそれでいいんだよ、森さん」「さすが社長候補だわ、厳しいねえ」「全然よくないですよーいつもこうやって手抜きソフトを作っているから、AI部は批判の矢面に立たされる身となっていることくらいは自覚してください」「で、これからどうするの？社長候補さん？」プログラマーたちの質問に対し、森は少し冷静になった。「そうだね。まずは観光企画部になんか仕事があるかどうか聞いてみますか」
(罗骏浩)

丁度その時、王紅がAI開発部の所へ向かってきた。「森さん、今よろしいですか？ちょっと相談に乗ってもらいたいことがあって」「あ、こっちも」「実はね、AI開発部とコラボしていただければと思います」「え？王さんと同じ考えです！」「それはいいですね。じゃあ詳しいことは明日の会議で話し合いますので、お先に失礼します」「あ、ま、また」王紅が去った後ろ姿を見て、森健は、「まさに渡りに船だなあ」って思った。(张钰)

6 成果はあったか コラボ会議 彼らは会社を救えるか

会議が間もなく始まるとは言え、王はまったくいい案が思いつかない。いい旅行サービスを開発するには、やっぱり「顧客ニーズ」に関する情報が喉から手が出るほど欲しい。しかし、それをどう実現するのは心得ていない。王は緊張しながら会議室へ向かっている。(蒋海跃)

会議室のドアを開けると、森健は明るくタブレットを取り出した。「最近はコロが原因で、みんな外出を控えていますね。いっそ『メタバース観光』に挑戦してみています？」王がタブレットを見ると、「VR」「NFT」「ブロックチェーン」など耳慣れない言葉がたくさん書かれていた。(李悦阳)

森健の話聞いた後、みんなは沈黙した。社長はしばらく考えて喜びの顔を浮かべて、「森さんのアイデアはとても面白くて大胆で、想像したことのない道だ。しかし、現在の苦境打開の本丸を指しているのかもしれない。私たちはこの考えに基づいて議論を続けなければならない。」と言った。社長の言葉に賛同する声が相次いだ。

その後、会議は順調に進み、あまり時間をかけずに終わった。（魏然）

会議が終わった後、一応同僚に会議の結果を報告したいと思ったら、スマホがないことに気づいた。「このあわてんぼうさんったら！自分を責めながら慌てて会議室に戻った。不意に会議室の中からかすかな声が聞こえてきて、王紅は足を止めた。「いいから、オヤジは安心して静養しな。大丈夫、オヤジが手塩にかけた大事な会社を、俺が絶対立て直してみせるから。」（卫冕）

7 コラボ会議のメンバーで慰労会 ガチ中華の店でお食事だ

会議の2日後、社長が慰労会を催すことを決めました。約束のお店に到着し、中華料理だと発見しました。同僚の皆さんが何人も集まっていたが、まだ入っていませんでした。挨拶をしようとする、お店の扉が開いて、中国人の店員が「请问这边几位」と聞いてくれました。皆さんが全くわからない顔をしているのを見て、私は一応「八个人」と返事しました。そして自分が先陣を切って入って行きました。（钱诚）

このガチ中華の店は元町や長崎新地のものとは大層違い、激辛、若しくはそれ以上の料理もあるものの、何故日本人である社長が比処を選んだのかな。それを伺って答えが出てくるわけがないが、憚りながら推測すると、広さや食欲の欲求よりも所謂「卓文化」のコンセプトを浸透させたい気持ちではないかと思う。これは、酒であついで雰囲気も燃え上がらせて、公私とも普段交流が少ない社員たちの関係を深め、仕事でも各員一層奮励努力してもらおうとの社長の意図か。さすが社長。（個人の推測かも）

（张临谦）

「お待たせいたしました」、と店員さんが麻辣燙を食卓に載せた。真っ赤なスープに唐辛子も漂っている。流石にみなさんは食べるのに二の足を踏むだろう。そこで社長が「皆さん、この料理も将来我が社が立ち向かう困難のようだ、一見とても難しいことだが、克服すれば我々の栄養となる、直球勝負で挑みましょう」と発言して、皆もだんだん盛り上がってきた。（殷照东）

「手前味噌で恐縮ですが、うちの社員は皆志が高く、協力体制も確立しています」社長はこう言った。誰もが納得してうなずいた。リラックスした雰囲気の中で、王紅は自分の将来と会社の将来について考えていた。「未来はチャレンジの連続だが、希望に満ちていて、頑張るしかない」と自分に言い聞かせていた。食事が終わり、みんな楽しそうにしていた。（高飞）

8 業績上向き ボーナスが出た AI万智さんの査定は如何に

今回、観光企画部に属する王紅とAI開発部の森健太郎とのコラボのおかげで、経営の不振は一転した。そのため、慰労会が終わった後、社長は社員らを集めて、ボーナスの給与について話した。「我が社が苦境の峠を起したのは、皆の協力あつてのことですので、それぞれの部署で詳しく業績を教えてください。」と、王紅らの社員たちにボーナス決定の意思を伝えた。(邓碧晶)

「このように業績の向上に役立つのは大変嬉しいです。これからわれわれの部門はディープラーニングの開発に力を入れ、AI技術が観光のもっと幅広い領域で活用できるように頑張りたいと思います。」と森健太郎は言いました。(肖晗)

今度の業績には、多くの部門が貢献しており、特に王紅の観光企画部と森健太郎のAI開発部は貢献度が高いので、全員にボーナスを出して処遇しようと思つているのだ。会社はAI開発部の技術的難易度を考慮し、業績評価で森健太郎のAI開発部に軍配を上げ、それぞれに最優秀を授与することにした。(张颖)

王紅も業績表を見た。AI開発部はかなりだが、観光企画部も実は多くのボーナスをもらった。毎日残業をしながら、それでもいい案が浮かばない日々を振り返った。しかしある日、席の周りに落ちていた本を見つけた。手に取ると、本のタイトルは『京都歴史巡礼』だった。ふと、入社前に李秀麗と行った旅行を思い出した。「親友とも一緒に楽しめるプランを考えてみようかな。」と、王紅は新たな提案をして、これを決定打として部門の評価を上げた。(李悦阳)

9 王紅さんの「親友プラン」が大評判 旅行市場に新風 そして次なる夢は

王紅さんの企画のおかげで、会社の売上は非常に高くなっている。それで、上司は王紅さんを褒め、「さすが王紅さんです。餅は餅屋。私の見る目は間違っていない。王さんは間違いなく前途有望です。」と言った。(斉原)

少し前に王紅の「親友プラン」は大評判になりました。大成功を収めて、仕事で初めて多額の金を得た。BOSSはこの勢いに乗って新しい計画を開発したいという旨を王紅に伝えた。王紅はしばらく考えた。突然、最近非常に人気のあるChat GPTを思い出して、これに聞いてみようかなあ、王紅はそう思った。(容梓皓)

Chat GPTは王紅に世界旅行を提案しましたが、王紅は現在のコロナの状況により世界旅行は不便になっていると考えており、そのような提案は非現実的であり、現在の旅行業界にはやぶ蛇となる恐れがあると思った。(黄圣文)

AIと人間、どちらが優れているかという問題を天秤にかけると、旅行会社は人にサービスを提供する会社なので、計算で結論を出すようなAIよりも、一人ひとりの

違いによって、その人に合ったソリューションを開発することがベストだと思います。このとき、なぜかふと森健のことを思い出した。森健もおそらく自分と同じことを考えているだろうと思った。(韦伊)

終 愛（AI）はAIを超えるか 「愛の旅行プラン」 そして二人は

一年が経過し、コロナの流行は終息に向かいつつあるようだ。経済も良い方向に変わり、観光業も新しい息吹が感じられるようになった。皆の努力のおかげで、AI観光プロジェクトも多く開発され、方一さんの勤める大手会社とはまだ差があるが、会社は急成長している。2月14日残業が終わると、王さんと森健さんは一緒に駅まで歩いた。王さんは「私が知り得た観光産業へのAIの応用は氷山の一角に過ぎない、未来の「旅人」の舵取りの森健くんは、どう考えていますか」森健さんに尋ねた。（高飛）

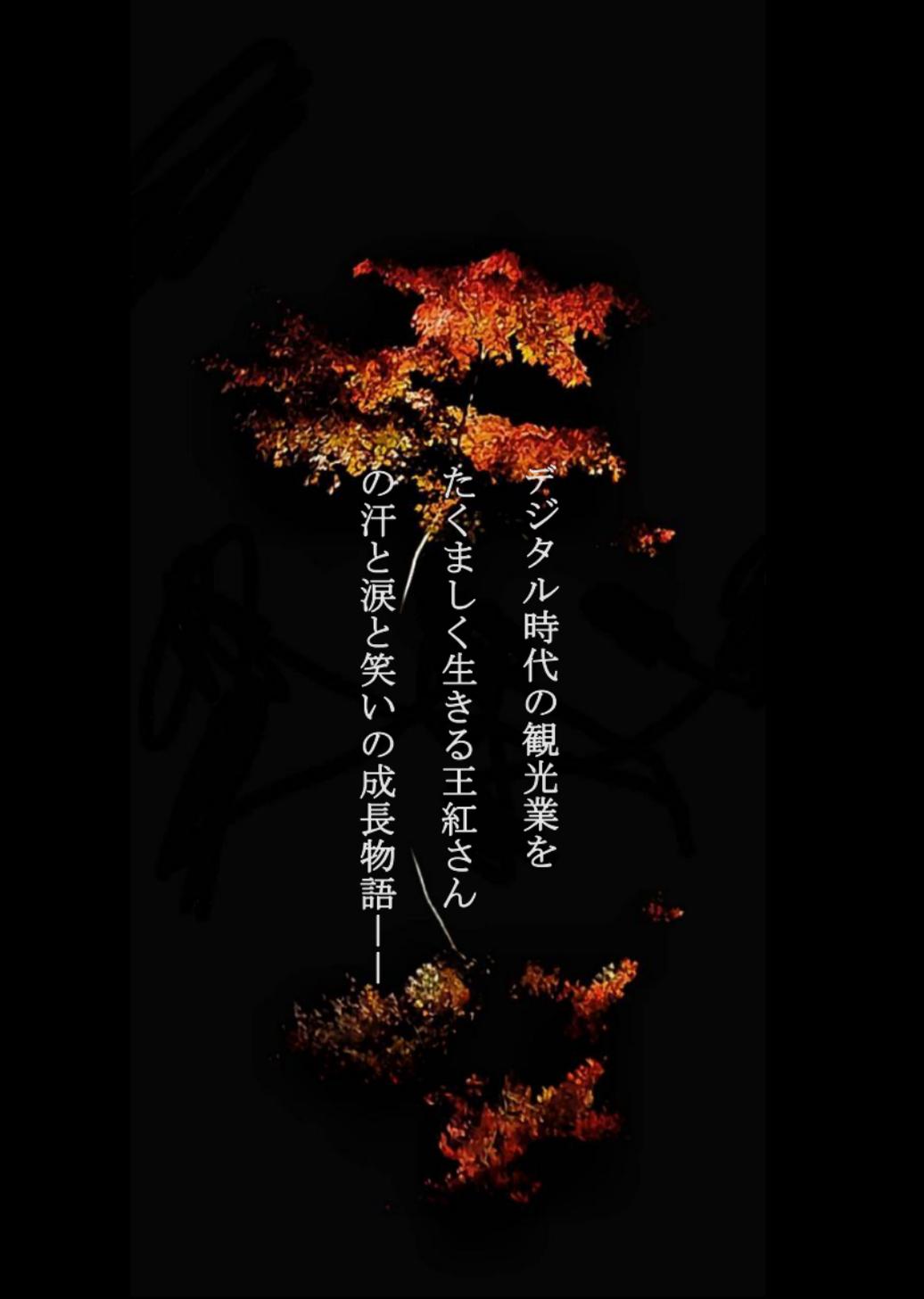
「そのネタを使って僕をいじめないでください、紅さん。」森健は苦笑いした。「あの時、同期の紅さんに親の七光りと思われなくなかったから教えてなかっただけ。もう反省している。」「まあ、君と社長の話を立ち聞きました私も悪いからいいよ。で、真剣な話、森健はどう思う？ これからの観光業は？」「今、AI技術がどんどん発展していて、もうすぐシンギュラリティが出現するかもしれない。これから、人々の楽

しみ方もそれに応じて大きく変化するだろう。僕たちも人の心を掴み、時代の流れを追いかけなければ。」「あら、さすが森健、すごいこと言ってるね。そういえば、君に言いたいことがあるの。あの時の『京都歴史巡礼』ありがとう。」「あ、やっぱり気づいていた？」「うん。私いつも君に助けてもらうばかりだ。それで——あの、私たちのシンギュラリティは——今でいい？」「ええ？それは、前日の告白の返事のこと？ OKってこと？」（卫冕）

それはよく晴れて見通しの良い午後だった。光が眩しいほど鮮やかに街を照らしている。雲の影が街を光と影に分けてゆっくりと動く。顔に吹いている春風がまるで恋の追い風のようにになって、二人とも心臓の鼓動がドキドキと高鳴ってくる。「今度、また京都に行こう。」と王紅が、小さい声でささやく。「いいよ。」と首の付け根まで朱を注いだような真っ赤な顔をしている王紅を見つめながら、森が軽く言う。（蒋海跃）

「懐かしいなあ。一年前、新卒で京都に来て、観光業に夢を持っていた。一年がたち仕事でいろんなことを経験した今、少しずつだけ仕事が出来るようになってきた。完全にコロナが終息し水を得た魚のように働きたい。再びここに来たら、同じ風景で

も心境が違っていた。あ、そうだ、前回は時間の関係で金閣寺に行けなかったから、今回は一緒に行こうよ。」と王紅は森健に行った。「いいよ。前回は、一人で来たんですよ。」と森健は言った。王紅はかすかに笑って、「いや、今回は紹介したい友人がいるんだ。」そして遠くを歩いている女の子に手を振って、「李さん、ここにいるよ。」と言った。(张钰)



デジタル時代の観光業を

たくましく生きる王紅さん

の汗と涙と笑いの成長物語——